

この国で生きる限り、地震との闘いは続く。



地震に強い建物をつくりたい。私たち鹿島建設は、ずっとそう考え、挑戦を続けてきました。この国に住まい続けるかぎり、地震との闘いは続く。

どこまでいっても完全ということはありませんが、私たちは最先端の研究施設で地震に備えるオンリーワンの技術を磨き続けています。

例えば、世界最大級の振幅を再現する3次元振動台「ダブルデッカー」。いまだ日本で起きた様々な地震の揺れや長周期地震動などの再現が可能です。

地震国であるわが国初の超高層ビル「霞が関ビル」の実現、建物の揺れを抑える制震技術の世界初の実用化、豊富な免震建物の実績など、地震に対する先進的な取り組みは業界でも随一。

地震と、その対策技術について誰よりも詳しくなることで、被害を最小限にとどめ、少しでも安全で安心な建物をつくりたい。私たちの挑戦に、終わりはありません。

※写真：ダブルデッカー——最大100Tの揺れ幅を再現する3次元振動台。最先端研究施設、霞が関ビル新築に活用。